

令和7年度県子ども会ジュニア・リーダー育成者、指導者、ユース・リーダー合同研修会

県子ども会ジュニア・リーダー育成者、指導者、ユース・リーダー合同研修会を7月27日(日)、福井県生活学習館にて開催しました。今年度は、講師に元県ユース・リーダーの松本恵哉さんを迎え、「これからのジュニア・リーダー、ユース・リーダーへ」と題し、講演をしていただきました。アイデアを広げる練習として、「野外炊さん」をテーマとして、グループごとにさまざまな意見を出し合いました。初めは緊張も感じられましたが、すぐに和気あいあいとアイデアが飛び交い、時間を忘れるほどでした。松本さんは、ジュニア・リーダーもユース・リーダーも「憧れの存在」であることや「憧れの連鎖」の大切さを力説されていました。情報交換の場では、「ジュニア・リーダーを育てるために」「ジュニア・リーダーを増やすために」等について、話し合いました。どのグループにもユース・リーダーが参加しているため、ユース・リーダーとしての思いや悩みなどを直接聞くこともできた合同研修会となりました。



参加者アンケートより

- ・今後、育成者として活動していく中でも大変参考になる講演だった。ラテラルシンキング(水平思考)を身につけていきたい。
- ・ジュニア・リーダー、ユース・リーダー経験者の体験に基づいた講演が大変ありがたく、勉強になりました。
- ・“憧れの連鎖”。これも今後の活動に活かしていきたい。
- ・ジュニア・リーダーを育てるために、育成者はどのような仕掛けをしていくとよいか、私たちも子どもたちも「憧れる人」の存在があることが大切だと感じました。自分のモチベーションがあがりました。
- ・ユース・リーダーとして、何を大切にしたらよいかを講演や情報交換で学びました。講演にあった「憧れの連鎖」のために憧れる存在になれるように努力することが必要だと感じました。
- ・ユース・リーダーの思いや活動への取組みを知ることができて、大変有意義でした。
- ・各市町の取組みを知ることができました。また、悩みなどについても活発な議論ができ、いい刺激をもらいました。